

受験番号

小論文

問題

文部科学省(2019)の交流及び共同学習ガイドによれば、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校（以下「小・中学校等」という。）及び特別支援学校等が行う、障害のある子供と障害のない子供、あるいは地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する交流及び共同学習は、障害のある子供にとっても、障害のない子供にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有するとされています。

また、これには相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面があり、この二つの側面を分かつたいものとして捉え、推進していく必要があるという記述がなされています。

出典：文部科学省（2019）交流及び共同学習ガイド、文部科学省。

さて、あなたは、上記の小・中学校等の通常の学級の担任教諭であるとして、今度、あなたの学級に、特別支援学校に在籍するAさんが居住地交流で3日間やってきます。

Aさんには知的発達に遅れが見られ、言葉によるコミュニケーションは難しいですが、簡単な単語で自分の意思を表現することができます。授業中は気が散りやすく、一つのことに集中できる時間は短いですが、動物のパズルなどAさんの好きな活動には集中して取り組むことができます。また人懐っこく、他者へは自分から関わっていく様子が見られています。

Aさんを受け入れるにあたり、あなたはどのようなことに留意しますか？ また、居住地交流を実施する前の事前学習として、通常の学級でどのような取り組みを行いますか？ あなたの保有免許との関係から学校種・学年等を自由に設定した上で、考えを700字以上800字以内でまとめ、その解答を別紙の小論文・解答用紙に記述してください。

